

7-14		主題	口腔機能を支えていくための職種を超えた取り組み	
口腔ケア		副題	口腔機能維持向上チームの活動評価	
研究期間	36ヶ月	事業所	介護老人福祉施設 リバーパレス青梅	
発表者：小林 圭子（こばやし けいこ）		アドバイザー：阿佐 智子（あさ ともこ）		
共同研究者：西田 日出代、立野 弘祐				
電話	0428-23-4038	メール	info@riverpalace.ne.jp	
FAX	0428-23-4039	URL	http://www.riverpalace.ne.jp/	

今回発表の事業所やサービスの紹介	昭和59年開設された、従来型の特別養護老人ホーム。長期入所 100 床、短期入所3床。居宅介護支援事業所、訪問介護ステーション併設。多摩川の清流が自然と見事に調和をした静かな住宅街の中に立地している。
------------------	--

<p>《研究前の状況と課題》</p> <p>施設として、口腔機能を重視していなかった。そのため、口腔ケアは介護課だけの取り組みであり、日課としても1日1回の実施のみで、その他は自立度の高い方はご本人に任せているという状況があった。この状況は、利用者の重度化に伴い、口内汚染の悪化や肺炎などの疾患を引き起こす原因になっていたと思われる。また、口腔・嚥下機能を維持・向上し難い環境となっていたと考えられる。これらの状況が、当事業所にとっての課題であった。</p> <p>《研究の目標と期待する成果》</p> <p>平成18年度より口腔機能維持・向上チームを立ち上げ、他職種と連携して下記の目標に沿って活動し、課題を達成するよう取り組んでいく必要があった。</p>
---

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 衛生面を考慮した個別の口腔ケアができることを期待して口腔ケアの体制整備に取り組んだ。</li> <li>2. 口腔機能が維持できることを期待して誤嚥予防に取り組んだ。</li> </ol> <p>《具体的な取り組みの内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔ケアの体制整備       <ol style="list-style-type: none"> <li>i. 歯科との連携強化・職員への指導</li> <li>・ 歯科衛生士による口腔ケア・口腔リハビリの導入</li> <li>・ 歯科衛生士による口腔内状況についての情報提供や助言および指導の伝達</li> <li>・ 研修会開催</li> </ol> </li> </ol>
--

ii. 個別ケア

- 1日2回の口腔ケアの定着
- 胃ろう者の口腔ケアの充実
- 事前・中間・事後評価の実施
- 適切な物品の提供
- 口腔ケア強化月間の実施

iii. 物品の衛生管理

- 義歯や口腔用品の管理の徹底
- 感染症のある利用者の物品管理

2. 誤嚥予防

i. 機能訓練

- 吹き戻し・風車を使用した訓練の実施
- 口腔体操の実施

ii. 嚥下機能

- トロミを使用開始するまでのマニュアルの作成
- トロミ使用の統一化
- 食事形態、摂食動作の評価

《取り組みの結果と評価》

1. 口腔ケアの体制整備

i. 研修会の開催や定期的に歯科医師・衛生士が会議に参加することにより専門的な助言を得られたことによって、職員の口腔機能に対する関心が高まり知識・技術も向上した。

ii. 歯科医師・歯科衛生士とともにアプローチしたことにより、利用者個々の評価を状態に合わせて実施することができ、個別の対応が実現できた。

iii. 職員の知識が向上したことによって、物品の消毒や乾燥の徹底、感染予防に取り組むことができた。

2. 誤嚥予防

i. 口腔体操・口腔機能訓練の定着化はできた。しかし、個別的な対応が欠けていた。

ii. 嚥下状態に合わせて、職員間で統一した対応が定着しつつある。今後はさらなる個別対応を目指していく必要がある。

以上の結果より、入院数の減少やRSST・水飲みテストの値が総体的ではあるが維持という結果につながったのではないかと思われる。

《まとめ》

以前と比較し、チームを通して他職種連携が強くなったために、職員が口腔機能を重視して対応できるようになった事が分かった。今後の課題として、より個別的な対応を強化していく必要がある。

《提案と発信》

高齢者の口腔機能の維持・向上を目指し取り組むためには、施設職員である介護職員・看護職員・管理栄養士だけではなく、口腔衛生の専門職である歯科医師・歯科衛生士等を交え、全職員が同じ視点・目標を持ちチームアプローチしていく必要がある。

【メモ欄】追加資料 有 無

注：参加者が自由に記入できるスペースです。空欄のまま提出下さい。